

第1回 奈良まほろばソムリエ検定 奈良通2級 正解

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)		
	ウ	ウ	エ	イ	ア	イ	イ	ア	イ	エ	ウ		
II	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)
	イ	ウ	エ	ア	ウ	イ	イ	ウ	ア	エ	エ	ウ	エ
III	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)
	イ	ア	ウ	ア	ウ	イ	ア	ウ	エ	エ	イ	イ	イ
	(38)	(39)	(40)										
IV	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)
	エ	イ	ア	ア	エ	イ	エ	イ	イ	ウ	エ	ア	エ
	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)							
	ア	イ	エ	ウ	イ	ア							
V	(60)	(61)	(62)	(63)	(64)	(65)	(66)	(67)	(68)				
	ウ	ア	イ	ウ	ア	ア	ウ	イ	ウ				
VI	(69)	(70)	(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)					
	イ	ア	エ	エ	ウ	イ	イ	ウ					
VII	(77)	(78)	(79)	(80)	(81)	(82)	(83)	(84)					
	イ	ウ	エ	ア	エ	ア	エ	エ					
VIII	(85)	(86)	(87)	(88)	(89)	(90)	(91)	(92)					
	エ	エ	エ	※	ア	イ	イ	ウ					
IX	(93)	(94)	(95)	(96)	(97)	(98)	(99)	(100)					
	ウ	イ	エ	ア	イ	イ	ア	ウ					

◎試験問題に関するお詫びと訂正について

※ (88)について、問題に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(訂正内容)

西大寺の大茶盛について、その特徴を問う意図の出題で、正解を「ウ」としていましたが、「名称の由来」となると、正解となる選択肢がないことが判明いたしました。従って出題の誤りとし、全員正解といたします。

(西大寺大茶盛式の由来)

延応元年(1239)1月16日、興正菩薩叡尊が、国家安康を祈願する御修法の結願として八幡宮に献茶をし、余ったお茶を大勢の参拝者に振舞ったことに始まる。その様が宴会のようであり、酒を飲む「酒盛」に例えて「茶盛」と称し、大勢の人が大きな茶碗で飲んだため、「大茶盛」となった。